



高齢者医療費の軽減を

「高齢者入院負担軽減条例」を区議会で提案します

高齢者いじめは許せません
高齢者のくらしは厳しさが加速してきます。わずかな年金も減らされ、各種保険料や税金は軒並み値上げ。そして容赦のない年金天引きとトリプルパンチです。その上、民主党新政権は後期高齢者医療制度廃止の公約を



共産党は6月24日から開催される品川区議会第2回定例会で、高齢者の入院時にかかる医療費や日用品費などの負担を軽減する条例提案を現在、準備。4日の議会運営委員会では、その旨を報告し、今後、全会派に共同提案又は賛同をはたらきかけます。
この条例は高齢者の入院に伴う経済的負担を軽減するもの。月1万円を限度に支援金を支給する制度です。高齢者の医療費等への負担軽減は、東京都内の自治体でも既にスタートしている制度。品川区でも一日も早い実現を目指しがんばります。

破り、今度は対象年齢を75歳から65歳からへとする制度改悪まで発表しています。高齢者いじめの政治は許せません。
共産党は国政とあわせ、地方政治でも高齢者のくらしと命を守るために奮闘。今回の条例提案は高齢者が病院での入院時に係る負担軽減を実現するためのものです。
財源は基金(区の貯金)に、新たに積み増す4億円9千万円の一部を充てれば可能です。実現に向け頑張ります。裏へ

用語解説 条例提案とは…

条例提案とは、各会派の公約や政策を実際に執行可能な形にまとめ、区議会に提出すること。国会で言う法案提出のことです。条例提案には区長提案と議員提案、そして区民の直接請求の3種類があり、議員又は区民による条例提案の場合、たとえ区長が反対しても、議会の過半数以上の賛成(再議は3分の2以上)で、条例を成立させることが可能なため「伝家の宝刀」と呼ばれることもあります。

今こそ、品川区でも実施を！

都内の各地で実施、高齢者医療費軽減策

高齢者福祉も、自治体によって違いがあることをご存知でしょうか。東京都内では、日の出町では高齢者の医療費・人間ドック受診料が無料。千代田区、新宿区、中野区では高齢者が入院した時に必要となる日用品費などへの負担軽減策を実施。高齢者が病院に入院する時につかう紙おむつ代への助成制度は、23区で21区が実施しています。

ところが品川区では、これらの何一つも実施されていません。まずは急いで他自治体並みに。そして、さらなる充実が必要です。ご一緒に高齢者に優しい品川区政に切り替えさせましょう。なかつか亮



都内高齢者医療費 等助成制度

(概要説明)

日の出町の高齢者医療費無料制度

日の出町では75歳以上の医療費と人間ドック受診料が無料。

千代田区の入院時負担軽減制度

千代田区では75歳以上の区民が病院に入院した際に必要となった日用品やリース代について月額2万円（領収書添付）、年10万円を上限に支給。

新宿区の入院時負担軽減制度

新宿区では75歳以上の区民が病院に入院した際、入院期間が7日～60日は1万円、61～120日は2万円、121日～は3万円を支給。

中野区の入院時負担軽減制度

中野区では75歳以上の区民で、世帯全員が住民税非課税の場合、31日以上入院の時は年1回2万円を支給。

※品川区は制度なし

23区高齢者入院時 紙おむつ代助成制度

(一カ月の支給額)

10,000円	港区	千代田区
9,000円	葛飾区	江戸川区
8,000円	新宿区	
7,500円	江東区	
7,000円	中央区	墨田区
6,300円	目黒区	
6,000円	中野区	世田谷区
5,400円	荒川区	
5,000円	台東区	北区
	渋谷区	豊島区
	大田区	板橋区
4,800円	練馬区	
3,000円	足立区	文京区
0円（制度なし）	杉並区	品川区